

2009年11月13日

各位

三井住友ファイナンス&リース株式会社

2009年度（平成22年度3月期）中間決算のお知らせ

三井住友ファイナンス&リース株式会社（取締役社長 石田 浩二）の
2009年度（平成22年度3月期）中間決算につきまして、別添資料の通り、
ご連絡申し上げます。

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>
企画部 市川・小澤 TEL:03(5404)2301

2010年3月期 第2四半期決算（4～9月）について

当第2四半期におけるわが国経済は、景気対策、在庫調整の一巡などの効果を受けて持ち直しの傾向がみられるものの、公共投資以外の需要は力強さを欠いて推移しました。なかでも民間設備投資は、設備過剰感が依然高水準にあることから、大幅に減少しました。

リース業界においても、民間設備投資の低迷を受けて、社団法人リース事業協会統計によるリース設備投資額は、前年同期比21%の減少、半期ベースでは2007年度上期以降連続してマイナスとなりました。機種別でもほぼすべての機種で前年割れとなりました。

このような経済環境のもと、当社は、既存ビジネスの強化に向けた組織変更や人員投入に加え、三井住友フィナンシャルグループ、住友商事グループとの協働を中心とした新規ビジネスを積極的に進めるなど、新たな成長軌道への基礎固めに取り組んで参りました。

当第2四半期の成約高は、3,647億円と前年同期比で19%減少、営業資産残高は2兆4,524億円（延払未実現利益控除後）と前年度末比で1,213億円の減少となりました。

損益面では、売上高は4,481億円と前年同期比3%減、営業利益は203億円と同3%減、経常利益は203億円と同5%減となりました。当期純利益は119億円と、前年同期と比べ保有株式の評価損が減少したこともあり、同2%増となりました。

今後、内需、外需ともに力強い回復を期待しにくい状況ではありますが、当社の特徴である銀行系リース会社の「財務」を切り口としたノウハウと、商社系リースの「モノ」「商流」を切り口としたノウハウを生かして、環境の変化やお客様のニーズに柔軟に対応して参ります。

貸借対照表

(平成21年9月30日 現在)

(単位 百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	2,355,504	流動負債	1,703,930
現金及び預金	3,475	短期借入金	702,332
営業債権	2,272,829	コマーシャル・ペーパー	781,600
その他	92,771	賞与引当金	994
貸倒引当金	△ 13,571	その他	219,004
固定資産	313,690	固定負債	648,995
有形固定資産	141,069	社債	43,600
賃貸資産	139,113	長期借入金	483,829
社用資産	1,955	退職給付引当金	933
無形固定資産	9,411	役員退職慰労引当金	370
その他	9,411	事業整理損失引当金	287
投資その他の資産	163,209	その他	119,974
投資有価証券	72,006	負債合計	2,352,925
関係会社株式	17,563	(純資産の部)	
その他	85,139	株主資本	315,401
貸倒引当金	△ 11,499	資本金	15,000
		資本剰余金	218,542
		資本準備金	15,000
		その他資本剰余金	203,542
		利益剰余金	101,859
		利益準備金	424
		その他利益剰余金	101,435
		別途積立金	73,500
		繰越利益剰余金	27,935
		自己株式	△ 20,000
		評価・換算差額等	868
		その他有価証券評価差額金	1,781
		繰延ヘッジ損益	△ 912
		純資産合計	316,269
資産合計	2,669,195	負債及び純資産合計	2,669,195

損 益 計 算 書

(自 平成21年 4月 1日)
(至 平成21年 9月30日)

(単位 百万円)

科 目	金 額
売上高	448,166
売上原価	399,533
売上総利益	48,632
販売費及び一般管理費	28,293
営業利益	20,338
営業外収益	630
営業外費用	622
経常利益	20,346
特別利益	11
特別損失	59
税引前四半期純利益	20,298
法人税等	8,344
四半期純利益	11,953